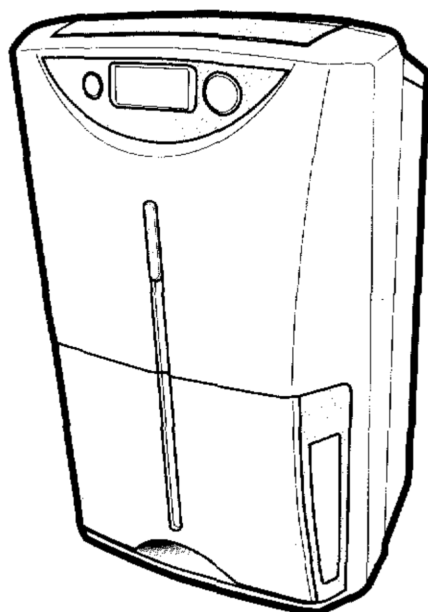
CORONA

コロナ除湿機

取扱説明書　CD-E100F

もくじ

ページ



このたびは、コロナ除湿機をお買いあげいただきましてありがとうございました。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」とともに大切に保管してください。

特　色

1.スピード衣類乾燥
2.ツインロータリーコンプレッサー搭載
3.光るウルトラサイン

仕　様

(50/60Hz)

項目			
型　式			CD-E100F
電　源			交流　100V　50／60Hz
除湿能力		(L／日)	9.0／10.0
消費電力		(W)	210／220
除湿可能面積の目安	木　造		19m²(11畳)／21m²(13畳)
	プレハブ		29m²(17畳)／32m²(19畳)
	鉄　筋		38m²(23畳)／42m²(25畳)
排水タンク容量		(L)	約6.2Lで自動停止
総　質　量		(kg)	11.5
外形寸法（高さ×幅×奥行)(mm)			590×365×270

■除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転したときの1日あたりの数値です。
■除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電気工業会)規格に基づいた数値です。
■待機電力は約1W(ワット)です。
■製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
■長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



株式会社コロナ

1 安全上のご注意

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠ **注意** 誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

絵表示の例


⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。


⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。


❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な行為の指示）が描かれています。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

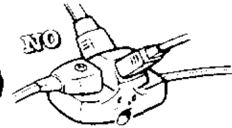
安全に使っていただくために

⚠ 警告

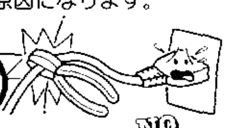
電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように根もとまで確実に差しこむ
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。




電源コードの途中での接続、延長コードの使用、タコ足配線はしない
感電や発熱・火災の原因になります。

電源コードは、折ったり束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない
電源コードが破損して、感電・火災の原因になります。

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない
感電や発熱・火災の原因になります。



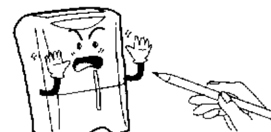

発熱器具の近くに置かない
樹脂部分が溶けて引火するおそれがあります。



交流100V以外で使わない
定格以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になることがあります。




吹出口や吸込口に指や棒などを入れない
内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

⚠ 注意

お手入れのときは必ずスイッチを「停止」にし、プラグも抜く
内部でファンが高速回転してお りますので、ケガの原因になることがあります。



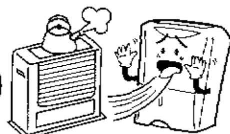

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜く
ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。



特殊用途には使用しない
食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。
保存品の品質低下などの原因になることがあります。




除湿機からの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

吹出口や吸込口をふさがない
風通しが悪くなり発熱・発火の原因になることがあります。




除湿機の上にのったり、腰掛けたりしない
落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。




除湿機を水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない
漏電によって感電や発火の原因になることがあります。




移動するときは必ず運転を停止し、内部のタンクの水をすて器具を傾けない
水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電や火災の原因になることがあります。




安全に…

⚠ 注意

長時間連続で使用するときは、特にエアフィルタや排水ホース等を定期的に点検する

過熱や水もれの原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。





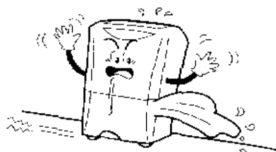
設置について

⚠ 注意

水平で丈夫な場所で使用する

ご使用中に除湿機が倒れると水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電や火災の原因になることがあります。





押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない

風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

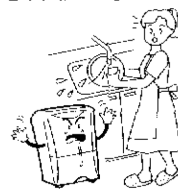




水のかかりやすい場所で使用しない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

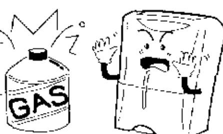




油・可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一もれて除湿機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。





屋内専用、直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない

過熱や漏電によって、感電・火災の原因になることがあります。

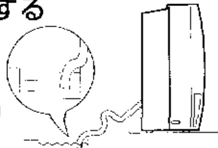




連続排水する場合はホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする

水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。





排水ホースを使用する場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする

ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内に水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。



修理について

⚠ 警告

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き、修理を依頼する

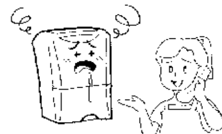
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。



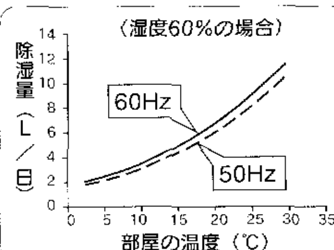
修理は、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に依頼する

修理に不備があると感電・火災などの原因になります





知っておいていただきたいこと



■運転可能な部屋の温度について

- 運転可能な部屋の温度は1℃～40℃です。
  ただし、部屋の温度が35℃を超えると、本体内部の温度が上がるため、保護装置がはたらき運転できないことがあります。
  また、氷点下の場合は除湿した水が凍りつくため除湿できません。

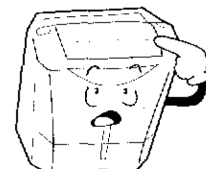
■除湿量について

- 温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。また、同じ部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため、除湿量は減ってきます。
- ルーバーが上向きのときに除湿量は最大になります。

■霜取り中は風が出ません。

- 部屋の温度が約18℃以下になると、冷却器に霜が付きますので霜取り運転をおこないます。
  霜取りは約1時間に1回、約5分～10分程度です。

霜取り中は風が出ません



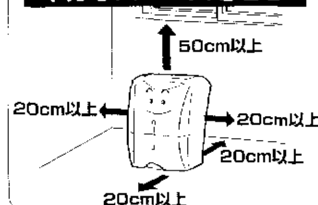
■運転中は室温が多少上昇します。

- 除湿機は冷房機ではありませんので、部屋を冷やすことはできません。
  運転中は排熱のためご使用条件によって、室温が2℃～4℃またはそれ以上上昇します。

■吹出口と吸込口はふさがないでください。

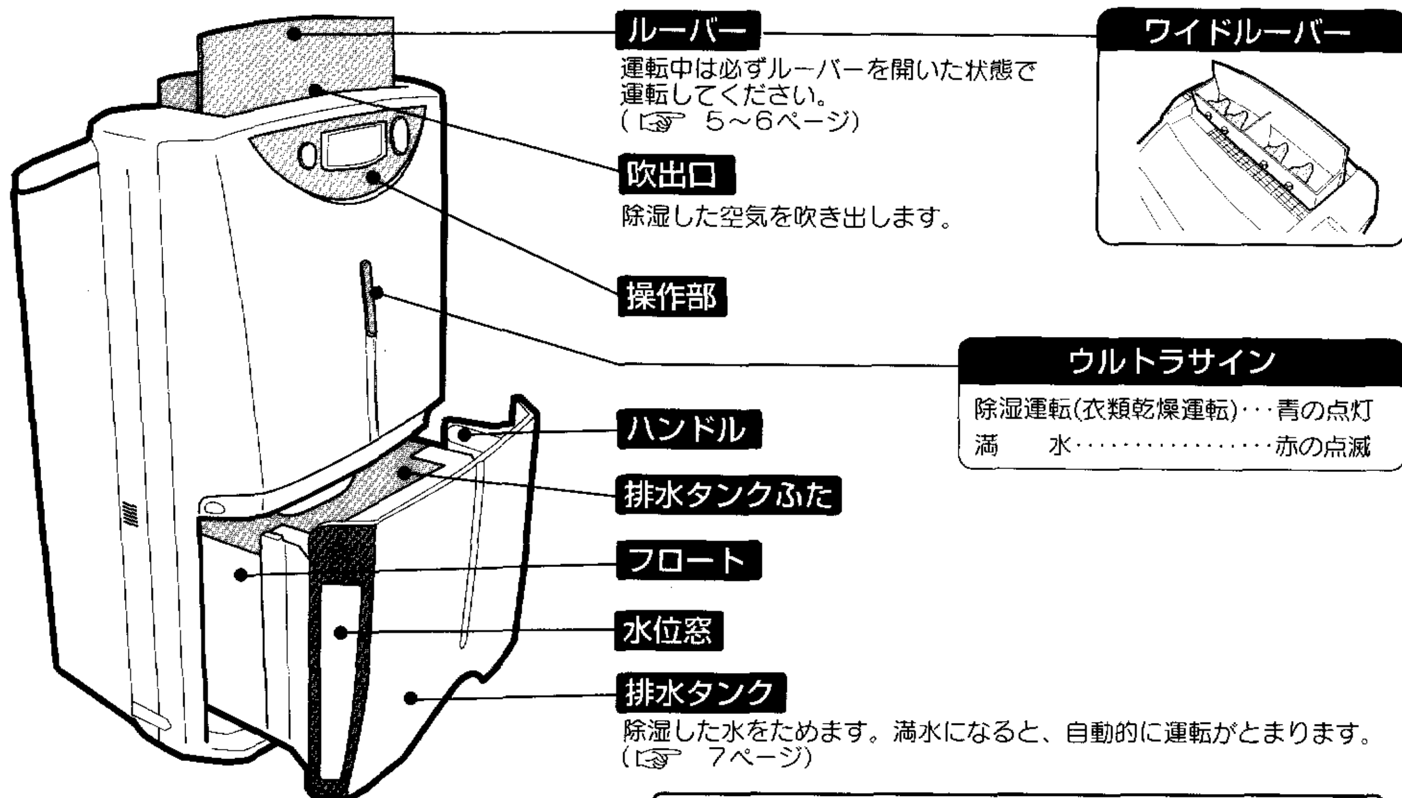
- 吹出口は必ずルーバーを開いてご使用ください。
- 除湿機は壁などから十分スペースをとってください。
- 吹出口や吸込口がふさがれていますと、除湿量が低下し、本体の保護装置がはたらき運転できないことがあります。

十分なスペースをとる



3 各部のなまえとはたらき

正面



お買いあげ時、排水タンクに水が残っている場合がありますが、工場での除湿テストによるもので異常ではありません。

背面

マルチハンガーを穴に差しこみます

とって

マルチハンガー取付穴

マルチハンガー(別売品 CD-H3)を取り付けます。
（☞ 10ページ）

エアフィルタ(吸込口)

吸い込まれる空気中のほこりやゴミを取り除きます。
室内の湿った空気を吸い込みます。
（☞ 9ページ）

連続排水穴

コードフック

電源プラグ

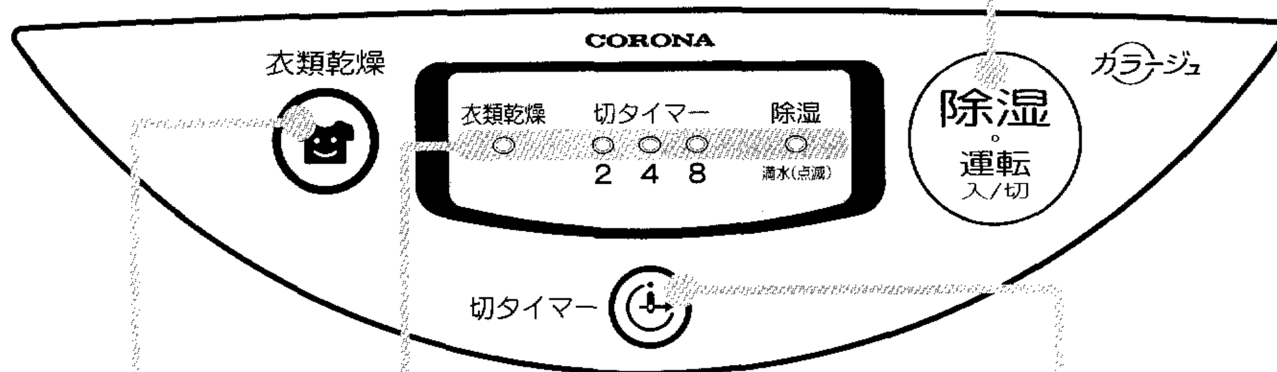
キャスター

（☞ 8ページ）

操作部

除湿運転入／切ボタン

ボタンを押すと、除湿ランプとウルトラサインが点灯し除湿運転を始めます。もう一度押すと、運転を停止します。



表示ランプ

除湿ランプ：除湿運転のときは点灯し、満水のときは点滅します。
切タイマーランプ：切タイマー設定時間まで点灯し、時間の経過とともに残り時間を表示します
衣類乾燥ランプ：衣類乾燥運転のときに点灯します。

衣類乾燥ボタン

除湿運転のときにボタンを押すと、衣類乾燥ランプが点灯し、衣類乾燥運転を始めます。もう一度押すと、衣類乾燥ランプが消灯し、衣類乾燥運転を停止し除湿運転となります。

切タイマーボタン

運転中に切タイマーボタンを押すと、切タイマーが「2時間」「4時間」「8時間」の順で設定できます。設定時間までの表示ランプを点灯します。

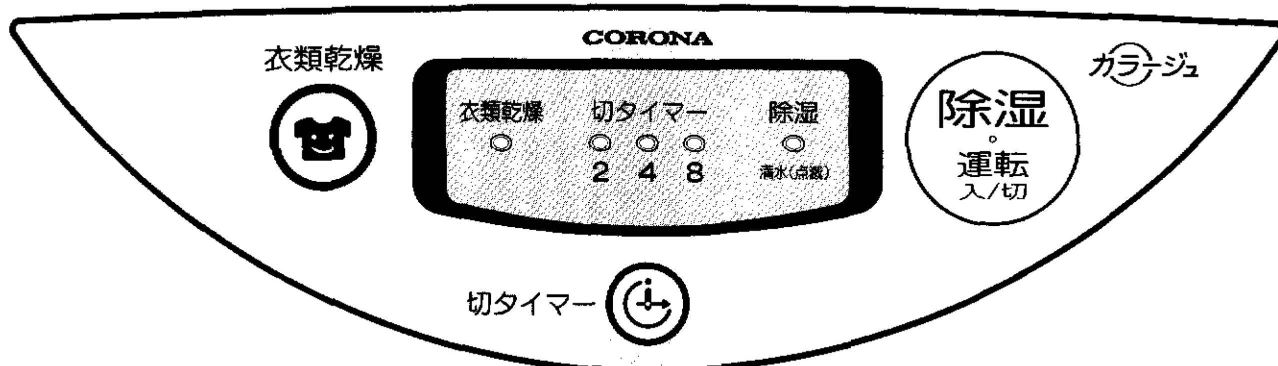
4 運転前の準備

排水タンクのチェック

初使用時などは、除湿ランプとウルトラサインが点滅をして運転しない場合があります。
このような場合は、排水タンクを取り出して排水タンクふたが確実にはまっていることを確認して正しく入れ直してください。

5 運転のしかた

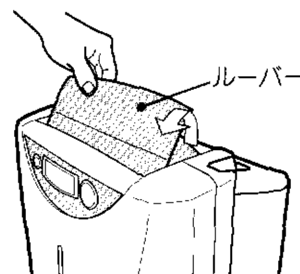
排水タンクが正しく入っているかどうか、確かめてから運転操作をしてください。排水タンクが正しく入っていないと運転しません。（その際は、除湿ランプとウルトラサインが点滅してお知らせします。）



1 **電源プラグをコンセント（交流 100V）に差しこみます。**

2 **ルーバーを手で開きます。**

■お好みの角度に調整してください。
運転中は必ずルーバーを開いてください。



3 **除湿運転入／切ボタンを押します。**

■除湿ランプとウルトラサインが点灯し、運転を開始します。
再度押すと運転を停止します。



4 **衣類乾燥ボタンを押します。**

■除湿運転のときにボタンを押すと、衣類乾燥ランプが点灯し、衣類乾燥運転を始めます。もう一度押すと、衣類乾燥ランプが消灯し、衣類乾燥運転を停止し除湿運転となります。

衣類乾燥



ご注意

■運転を停止してすぐ再運転したときは、機械保護のため、約３分間送風運転をおこないます。

6 切タイマー運転のしかた

切タイマー運転のセット(運転→停止)

■切タイマーは、２・４・８時間をセットできます。セットした時間が経過すると運転を停止します。
切タイマー表示ランプは、時間の経過とともに残り時間を表示します。

■切タイマーボタンを１回押すごとに、２時間→４時間→８時間→消灯(連続)の順に表示ランプが切りかわりますので、表示を確認のうえ切タイマーボタンを押してください。
連続運転時は、表示ランプを全て消灯します。

【例】 **4時間の切タイマーをセットする場合**

切タイマーを２回押すと…



4時間の切タイマーがセットされ、２・４時間の表示ランプが点灯します。



7 じょうずな使いかた

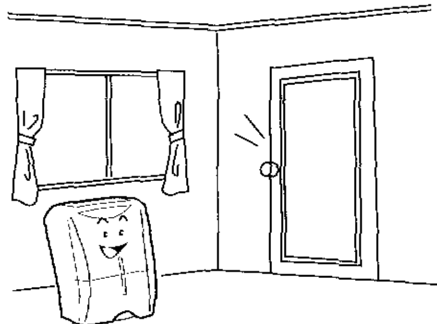
吹出方向の切りかえ

用途に合わせたお好みの角度が選べます。
運転中は、必ずルーバーを開いてください。
閉じたまま使用すると運転を停止する場合があります。

上吹出し

お部屋の除湿に

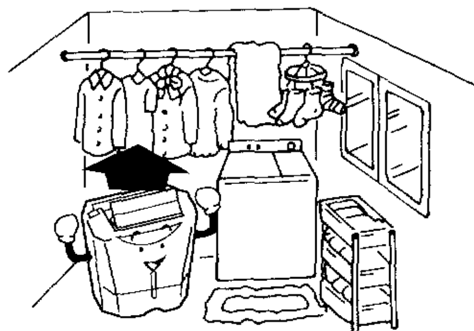
お部屋のドアや窓の開閉はできるだけしないで、"上吹出し"で運転してください。
お部屋の外の湿った空気が入りますと除湿効果が低下します。



上吹出し

洗濯物の乾燥に

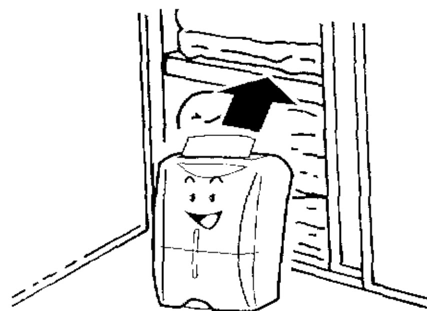
浴室の脱衣場などを利用し、衣類が風に当たるように"上吹出し"で衣類乾燥運転をしてください。
狭い部屋ほど早く乾燥できます。運転のとき、洗濯物の水滴が除湿機に滴下しないよう十分脱水してください。
また、洗濯物が落下しないように固定してください。



ななめ背面吹出し

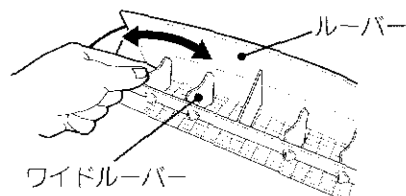
押し入れなどの湿気をとるために

ふすまを開けて、その前で運転してください。吹出口を押し入れに向けますと早く湿気がとれます。



ワイドルーバーの使いかた

ワイドルーバーを左右に動かすことで風向を変えることができます。

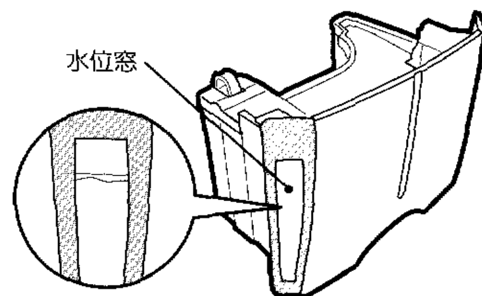


8 満水のお知らせとタンクの水のすてかた

満水のお知らせ

排水タンクに約6.2Lの水がたまりますと、自動的に運転を停止し、除湿ランプとウルトラサインが点滅して、お知らせしますので、排水タンクの水をすててください。

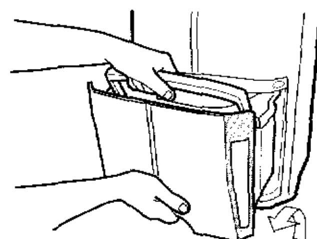
■水位窓(クリアな部分)の上端から約2cmさがったところが満水で運転停止するところです。



タンクの水のすてかた

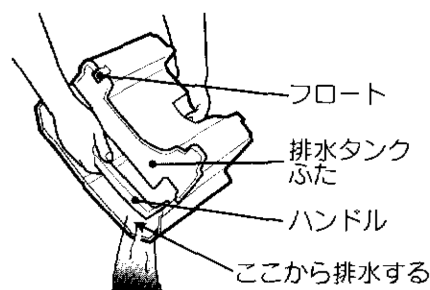
1 排水タンクを取り出す

運転停止直後に排水タンクを取り出すと、残っている除湿水が本体内部に滴下することがありますので、30分以上してから取り出してください。



2 水をすてる

フロートの中に水が残っていると、満水時の自動停止装置が正常にはたらかないので、完全に水をふき取ってください。



3 排水タンクを戻す

必ずハンドルをねかせ、排水タンクふたが確実にはまっていることを確認し、静かに奥まで確実に押し込んでください。
自動的に水をすてる前の状態で運転を始めます。

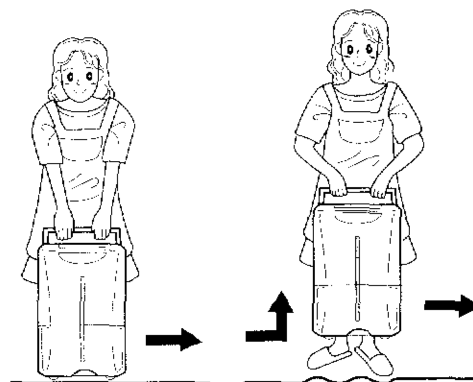
■排水タンクが正しく入っていないと、満水時の自動停止装置がはたらいて運転できません。

ご注意

■排水タンクの中のフロートをはずさないでください。
■排水タンクを必ず正しく入れてください。正しく入っていないと満水検知がはたらいて運転できません。
■フロートの中に水や物を入れて運転しないでください。満水時の自動停止装置が正常にはたらきません。
■排水タンクふたが確実にはまっていないと、排水タンクが取り出せないことがあります。



キャスター移動のしかた



■除湿機を移動するときは、運転を停止し必ず排水タンクの水を捨ててください。
（排水タンクは運転を停止し、30分以上待って内部の水を排水タンクに落としてから取り出してください。）

■とってを持ち、キャスターを使って移動してください。

■部屋間の仕切りや、凹凸のある場所、階段、傷のつきやすい床等は、除湿機を持ちあげて移動してください。

ご注意

■キャスターで本体を移動するときに、床の材質によっては床に傷がつくおそれがあります。
傷のつきやすい床や凹凸のある場所では持ちあげて移動してください。

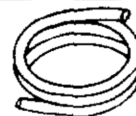
■除湿機を傾けて移動しますと、床の表面を傷つけます。また、除湿機内の残水がこぼれ床などをぬらすことがあります。



連続排水のしかた

近くに排水できる場所があれば連続排水ができます。
必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水タンクを取り出してからおこなってください。

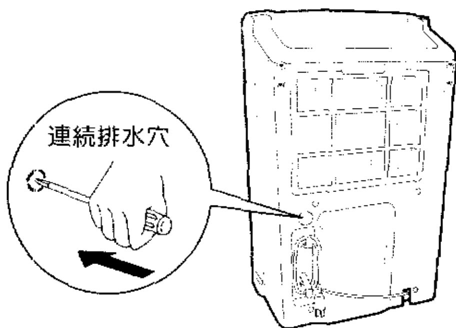
ご用意いただくもの	・排水ホースとして市販品のビニールホース(内径15～16mm) ・ヤスリ ・ドライバー



連続排水する場合

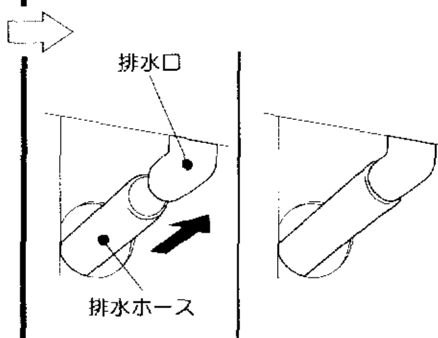
連続排水穴をあける

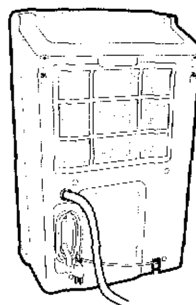
排水タンクを取り出し、本体背面の連続排水穴をドライバーなどで押して打ち抜き、穴の端面をヤスリなどで仕上げます。



排水ホースを取り付ける

ホースの先を排水口に差しこみます。





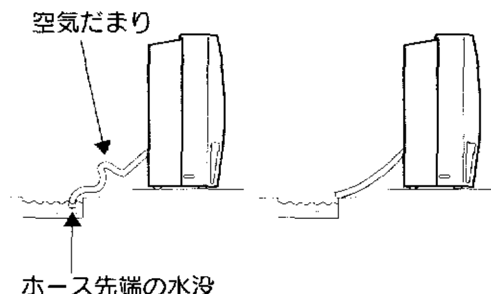
排水タンクをもどす

排水タンクをもどさないと運転できません。

ご注意

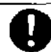
■排水ホースは排水方向に対して必ず下り勾配で排水口まで配管してください。

■排水ホースの先端を水中に入れたり、途中で高くなったり折れ曲がっていると排水できません。

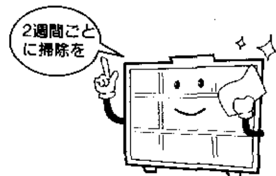




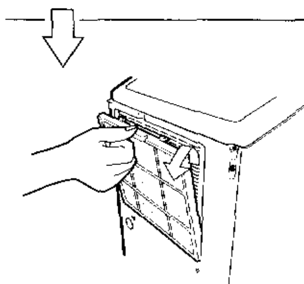
お手入れのしかた

⚠注意　お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてからおこなってください。 

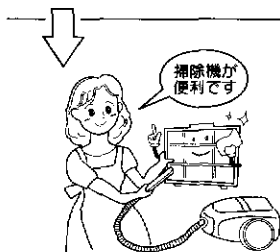
エアフィルタのお手入れ



2週間に一度はお手入れをしてください。
エアフィルタにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。



本体背面よりエアフィルタをはずしてください。



掃除機を使用するか、軽くたたいてください。
汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。洗った後は、よくすすぎ、日陰で乾かしてからもとどおり取り付けてください。

ご注意
■エアフィルタをはずしたまま運転するとごみが付着し、故障の原因になります。
■製品は必ず正立で運搬・保管してください。

掃除機などでお手入れ

吸込口を掃除するときは、ロングノズルでおこなってください。

やわらかい布でからぶき

やわらかい布でからぶきしてください。

40℃以下のお湯を使う

40℃以上のお湯は使わないでください。
変形することがあります。

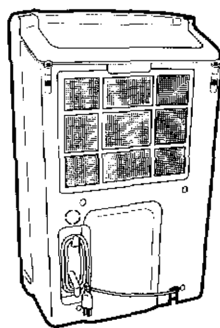
揮発性のものは使わない

ベンジン・シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどを使用すると変形や割れることがありますので使用しないでください。



長期間使わないとき

■運転を停止し、電源プラグを抜く。
電源コードは本体背面のコードフックに巻き付ける。
■排水タンクの水をすてる。
■エアフィルタを掃除し、もとどおりに取り付ける。
■やわらかい布でからぶきする。
■直射日光のあたらない場所に保管する。

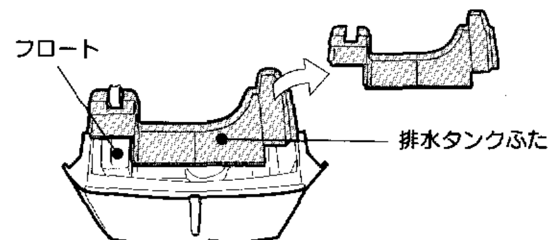


点検整備のおすすめ

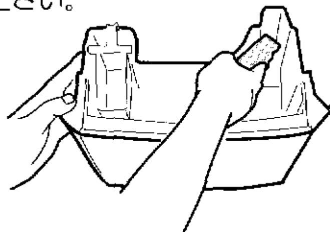
除湿機を数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。
除湿機を長持ちさせるため通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備は、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

排水タンクのお手入れ

排水タンクふたを取りはずします。
フロートは、はずさないでください。



排水タンクを水洗いして、タンクおよびフロートの中の水をふき取ってください。



排水タンクふたを確実に取り付けます。

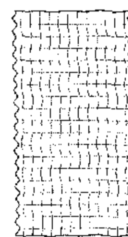
ご注意　■本体の水洗いはしないでください。感電のおそれがあります。

12 別売品について

下記の別売部品を用意しております。お買いあげになられた販売店にご注文ください。

- ・空気清浄フィルタ　（型式：CDF－８・・・交換用の空気清浄フィルタです。）
- ・マルチハンガー　（型式：CD－H３・・・靴などを乾燥させるためのハンガーです。）

■空気清浄フィルタの有効期間は約６カ月です。
　寿命がきましたら、別売品の交換用空気清浄フィルタをお買い求めください。
■空気の汚れ度合いによっては、有効期間(６カ月)以内でも効果がなくなります。
■空気清浄フィルタは使いすてです。
　汚れたフィルタは洗っても再使用できません。
　汚れたフィルタを使い続けると風が出なくなり除湿できなくなる場合があります。
■空気清浄フィルタは一酸化炭素や有毒ガスを除去する効果はありません。



空気清浄フィルタ



マルチハンガー

13 このようなときには

修理・サービスをお申しつけになる前につぎの点をお調べください。

	症　状	原　因
故障ではありません	風が出なくなった カチッ、シューと音が出る	■これは霜取運転をおこなっているためで故障ではありません。 約5分～10分間風が出なくなります。またこのとき内部の動作音と冷媒が流れる音がします。
故障ではありません	吹出口から温風が出る	■除湿運転時にはコンプレッサーで発生する熱により吹出風は室温より高くなります。
故障ではありません	排水タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため湿度が高いときは、露がつくことがあります。
もう一度お調べください	運転しない	■排水タンクが正しく入っていますか。 ■排水タンクが満水になっていませんか。 ■霜取り中ではありませんか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。
もう一度お調べください	除湿量が少ない	■エアフィルタが目詰まりしていませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。 ■部屋の温度、湿度が低くありませんか。
もう一度お調べください	なかなか湿度が下がらない	■ドア、窓の開閉が多くありませんか。 ■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありませんか。 ■部屋が広すぎませんか。
もう一度お調べください	音がうるさい	■不安定なところに置いていませんか。 ■エアフィルタが目詰まりしていませんか。
もう一度お調べください	洗濯物がなかなか乾かない	■洗濯物に吹出風があたっていますか。 ■広い部屋で乾燥していませんか。 ■洗濯物の量が多くありませんか。

つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜き、販売店へご連絡ください。

■ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
■電源プラグやコードの被覆が破れているとき
■誤って異物や水を入れてしまったとき
■その他、異常のあるとき
■電源プラグやコードが異常に熱いとき
■ボタンの作動が不確実なとき
■使用中に異常音がするとき

14 修理・保証

修理サービスについて

■除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後８年です。
　補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。くわしくはお買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

次ページに続く

修理を依頼されるときは

異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの5点をはっきりとご連絡ください。

- ■型式（品番）
- ■お買いあげ日 } 保証書をごらんください。
- ■故障内容
- ■ご住所・ご氏名・お電話番号
- ■訪問ご希望日

保証書について

このコロナ除湿機には「保証書」が付いています。

■保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

■保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。

■このコロナ除湿機の保証期間はお買いあげいただいた日から１年（ただし、冷却装置の保証期間は３年）です。
保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をごらんください。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。
名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター
フリーダイヤル 0120-919-302
（修理受付専用ダイヤル）
FAX 0120-919-322

携帯電話・PHS等からは最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

北海道・東北地区のお客様は最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864−0440(代表)	FAX(011)863−3154
	札幌サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0875	TEL(011)879−2121(代表)	FAX(011)871−2000
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48−6070(代表)	FAX(0138)48−6080
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8261	TEL(0166)37−2330(代表)	FAX(0166)37−2338
	帯広営業所	帯広市西12条南1丁目30-1	〒080-0022	TEL(0155)35−7518(代表)	FAX(0155)35−7510
	釧路営業所	釧路市花園町4-17	〒085-0038	TEL(0154)24−4191(代表)	FAX(0154)24−0451
	北見営業所	北見市美芳町9-1-30	〒090-0064	TEL(0157)26−2103(代表)	FAX(0157)26−2107
東北地区	青森支店	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)742−6255(代表)	FAX(017)742−6275
	青森サービスセンター	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)743−2971(代表)	FAX(017)743−1118
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864−5671(代表)	FAX(018)864−8468
	秋田サービスセンター	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864−5219(代表)	FAX(018)864−5760
	八戸営業所	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)24−5289(代表)	FAX(0178)45−4290
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28−3910(代表)	FAX(0172)28−0191
	弘前サービスセンター	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)26−4770(代表)	FAX(0172)29−1133
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622−4791(代表)	FAX(019)622−5244
	盛岡サービスセンター	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604−0281(代表)	FAX(019)604−0283
	水沢営業所	奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22−4155(代表)	FAX(0197)22−4452
	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235−3181(代表)	FAX(022)236−8810
	仙台サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783−1791(代表)	FAX(022)783−1792
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938−2240(代表)	FAX(024)938−3021
	郡山サービスセンター	郡山市安積町荒井字振子東30-1	〒963-0111	TEL(024)947−4654(代表)	FAX(024)946−7651
	会津サービスセンター	会津若松市門田町徳久字竹之元885-10	〒965-0843	TEL(0242)26−3211(代表)	FAX(0242)26−3216
	山形営業所	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)642−3255(代表)	FAX(023)642−3254
	山形サービスセンター	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)631−7381(代表)	FAX(023)631−7391
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31−0571(代表)	FAX(0234)31−0581
関東地区	東京支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927−1151(代表)	FAX(03)3927−1160
	首都圏サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911−1131(代表)	FAX(03)3927−1130
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241−2172(代表)	FAX(029)241−4268
	千葉営業所	松戸市高塚新田95-5	〒270-2222	TEL(047)312−8330(代表)	FAX(047)312−8338
	さいたま営業所	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651−1231(代表)	FAX(048)651−6370
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(029)839−5325(代表)	FAX(029)836−1913
	横浜支店	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852−4008(代表)	FAX(045)852−5540
	立川営業所	立川市西砂町1-66-13	〒190-0034	TEL(042)531−6771(代表)	FAX(042)531−0496
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268−1567(代表)	FAX(055)268−1569
	甲府サービスセンター	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268−1568(代表)	FAX(055)268−1571
	高崎支店	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361−4806(代表)	FAX(027)361−9139
	高崎サービスセンター	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)363−8259(代表)	FAX(027)364−3228
	宇都宮営業所	宇都宮市簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632−5105(代表)	FAX(028)632−5205
	宇都宮サービスセンター	宇都宮市簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632−5150(代表)	FAX(028)610−4607
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38−6571(代表)	FAX(0276)38−5508
信越・北陸地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32−2126(代表)	FAX(0256)35−8519
	三条サービスセンター	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32−2129(代表)	FAX(0256)32−2137
	新潟東営業所	新潟市江南1-6-41	〒950-0855	TEL(025)286−9131(代表)	FAX(025)286−3313
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381-0022	TEL(026)221−5111(代表)	FAX(026)221−0039
	松本営業所	松本市笹賀大久保原7852	〒399-0033	TEL(0263)26−0051(代表)	FAX(0263)25−9961
	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260−0567(代表)	FAX(076)260−0775
	金沢サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260−0038(代表)	FAX(076)260−0735
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444−0567(代表)	FAX(076)444−0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23−0567(代表)	FAX(0776)23−0580
東海地区	名古屋支店	名古屋市熱田区桜田町16番11号	〒456-0004	TEL(052)746−6600(代表)	FAX(052)684−6551
	名古屋サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16番11号	〒456-0004	TEL(052)746−6603(代表)	FAX(052)684−6554
	静岡営業所	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238−0005(代表)	FAX(054)238−0006
	静岡サービスセンター	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238−0016(代表)	FAX(054)238−0822
	岐阜営業所	岐阜市六条南2-7-8	〒500-8358	TEL(058)268−7555(代表)	FAX(058)268−7550
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234−8471(代表)	FAX(059)234−8472
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(055)968−6210(代表)	FAX(055)968−6212
	岡崎営業所	岡崎市大平町沢添49	〒444-0007	TEL(0564)25−0275(代表)	FAX(0564)25−1726
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380−2111(代表)	FAX(06)6386−7262
	大阪サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386−5670(代表)	FAX(06)6386−5588
	高松営業所	高松市今里町1-8-5	〒760-0078	TEL(087)835−1711(代表)	FAX(087)835−0160
	京都営業所	京都市伏見区竹田段ノ川原町70-1	〒612-8414	TEL(075)643−2002(代表)	FAX(075)643−0870
	神戸営業所	神戸市西区枝吉5-132	〒651-2133	TEL(078)922−2431(代表)	FAX(078)922−2435
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24−6239(代表)	FAX(0749)26−2116
	福知山営業所	福知山市荒河東町68	〒620-0061	TEL(0773)22−0827(代表)	FAX(0773)23−7592
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871−3310(代表)	FAX(082)871−3306
	広島サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871−3315(代表)	FAX(082)871−0272
	岡山営業所	岡山市辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243−7751(代表)	FAX(086)243−7191
	米子営業所	米子市日久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33−8157(代表)	FAX(0859)23−0709
	徳山営業所	周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22−5567(代表)	FAX(0834)22−5589
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474−5771(代表)	FAX(092)474−5775
	福岡サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474−6001(代表)	FAX(092)474−6414
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0825	TEL(093)592−8611(代表)	FAX(093)592−8666
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281−1321(代表)	FAX(099)281−1252
	熊本営業所	熊本市尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367−7361(代表)	FAX(096)369−6323
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882−7710(代表)	FAX(095)882−7767
	宮崎営業所	宮崎市鶴島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29−1680(代表)	FAX(0985)25−0685
	大分営業所	大分市三佐1-19-7	〒870-0108	TEL(097)523−5161(代表)	FAX(097)523−5162
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市字地沢738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897−5677(代表)	FAX(098)897−5679

07027002

本社・工場	三条市東新保7-7	〒955-8510	TEL(0256)32−2111(大代表)
柏崎工場	柏崎市宝町2-58	〒945-0817	TEL(0257)23−5175(代表)
長岡工場	長岡市下条町倉ノ浦1069	〒940-1146	TEL(0258)22−2121(代表)

株式会社コロナ

134WA0191- 0 1 2 3 Ⓔ